



木戸 俊治

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」
の取組み状況と課題は

問 町長は、今年度の町政運営方針で、地方創生の実現を最優先課題として捉え、情熱をもって取り組みたいと述べている。

答 町長は、今年度の町政運営方針で、地方創生の実現を最優先課題として捉え、情熱をもって取り組みたいと述べている。

「総合戦略」の効果を検証するため、「能勢町地方創生推進委員会」を立ち上げ検討をしているが現状は。

答 今年度の計画については、不採択ということ

再度組み直し、当初の取組みを継続したい。

答 今年度の計画については、不採択ということ

は。

問 この総合戦略で絶対にやらなければならないという点は。

答 総合戦略すべてが関連しているが、10月から市街化調整区域の規制緩和を実施し、子育て世代を呼び込むことや、就労の場の確保等が大きなポイントになる。

また、発達段階に応じ、自然、伝統文化、歴史、産業などふるさと能勢のすばらしい課題について地域に出かけ、体験し、地域の方から学び、展開することを基本にしている。

問 教育の魅力化を基本目標に掲げ、質の高い教育プログラムによるグロ

答 子どもたちが意欲的に授業に参加できるように授業スタイルの研究や小中一貫した教育を進め、全ての子どもに社会を生き抜く力、ふるさと能勢を知る様々な体験を大切にし、グローバル人材の育成に取り組みたい。

ーカル人材の育成をめざしているが、新校が開校して5カ月、教育長の考えを伺う。

問 地方創生新型交付金

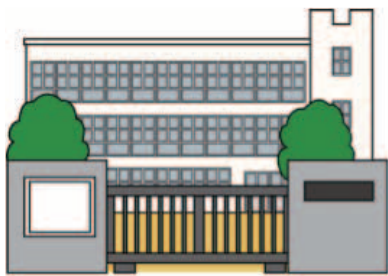
答 子どもたちが意欲的に授業に参加できるように授業スタイルの研究や小中一貫した教育を進め、全ての子どもに社会を生き抜く力、ふるさと能勢を知る様々な体験を大切にし、グローバル人材の育成に取り組みたい。

活用などの、厳しい現実

問 地方創生新型交付金

答 子どもたちが意欲的に授業に参加できるように授業スタイルの研究や小中一貫した教育を進め、全ての子どもに社会を生き抜く力、ふるさと能勢を知る様々な体験を大切にし、グローバル人材の育成に取り組みたい。

一般質問



福中 満

一、学校跡地の運用について
二、財政健全化対策について

問 旧小中学校跡地の運用については大きな課題だが、今後の対策の基本姿勢を問う。

答 地域で活用する見込みがなく、耐震基準を満たさない施設は安全管理の観点からも原則除却を基本とするが、民間活用も含めてしっかり検討していきたい。

本年度に策定する「公共施設等総合管理計画」において、学校跡地も含めて、今後の施設のあり方を示したい。

問 3大事業が完結したが、今後さらに厳しい財政事情が予想される。これに対する対策を問う。

答 27年度決算においても、将来負担比率・経常収支比率・財政調整基金等の数字を見ても、今後財政構造の硬直化の進展が予想される。また今後の人口減少等をふまえると、現有施設の維持・存続というのは非常に難しい状況である。

耐震工事に関する国の補助制度については、町の管理計画に基づき実施する施設の集約化等があれば交付対象とされるが、その他については、明確に答えることが困難な状況である。

問 3大事業が完結したが、今後さらに厳しい財政事情が予想される。これに対する対策を問う。

答 27年度決算においても、将来負担比率・経常収支比率・財政調整基金等の数字を見ても、今後財政構造の硬直化の進展が予想される。また今後の人口減少等をふまえると、現有施設の維持・存続というのは非常に難しい状況である。

これらことから、今年度本町の公共施設のあり方を抜本的に見直し、将来を見すえた行財政運営を行うために、「公共施設等総合管理計画」を策定中である。

問 3大事業が完結したが、今後さらに厳しい財政事情が予想される。これに対する対策を問う。

答 27年度決算においても、将来負担比率・経常収支比率・財政調整基金等の数字を見ても、今後財政構造の硬直化の進展が予想される。また今後の人口減少等をふまえると、現有施設の維持・存続というのは非常に難しい状況である。

引き続き事務事業の精査や総人件費の抑制など経常経費の削減を行うことにより、将来にわたり安定した行政サービスの提供に努めていきたい。

問 3大事業が完結したが、今後さらに厳しい財政事情が予想される。これに対する対策を問う。

答 27年度決算においても、将来負担比率・経常収支比率・財政調整基金等の数字を見ても、今後財政構造の硬直化の進展が予想される。また今後の人口減少等をふまえると、現有施設の維持・存続というのは非常に難しい状況である。

引き続き事務事業の精査や総人件費の抑制など経常経費の削減を行うことにより、将来にわたり安定した行政サービスの提供に努めていきたい。

問 3大事業が完結したが、今後さらに厳しい財政事情が予想される。これに対する対策を問う。

答 27年度決算においても、将来負担比率・経常収支比率・財政調整基金等の数字を見ても、今後財政構造の硬直化の進展が予想される。また今後の人口減少等をふまえると、現有施設の維持・存続というのは非常に難しい状況である。

引き続き事務事業の精査や総人件費の抑制など経常経費の削減を行うことにより、将来にわたり安定した行政サービスの提供に努めていきたい。

問 3大事業が完結したが、今後さらに厳しい財政事情が予想される。これに対する対策を問う。

答 27年度決算においても、将来負担比率・経常収支比率・財政調整基金等の数字を見ても、今後財政構造の硬直化の進展が予想される。また今後の人口減少等をふまえると、現有施設の維持・存続というのは非常に難しい状況である。

引き続き事務事業の精査や総人件費の抑制など経常経費の削減を行うことにより、将来にわたり安定した行政サービスの提供に努めていきたい。

問 3大事業が完結したが、今後さらに厳しい財政事情が予想される。これに対する対策を問う。

答 27年度決算においても、将来負担比率・経常収支比率・財政調整基金等の数字を見ても、今後財政構造の硬直化の進展が予想される。また今後の人口減少等をふまえると、現有施設の維持・存続というのは非常に難しい状況である。



長尾 義信

地域医療の充実に向けた
現状課題と今後の対策

問 4月1日から旧東診療所が能勢町国民健康保険診療所になり、地域医療の拠点としてスタートしたが、診療所施設の立て看板、道路標識がなく住民には十分に周知されていないと思われる。

また、通院にあたっての交通手段、支援の対策及び効率的かつ効果的な医療提供の体制についての考えを問う。

答 立て看板等の設置については特に考えていないが、今後検討をしたい。

交通対策については、複数の民間医療機関が送迎をされていることから診療所独自の送迎については現在検討している。

健康で明るいまちづくりの実現を!!

い。

また、医療提供の体制については、医師による訪問診療、看護師による訪問看護の取組み、在宅医療の体制の整備を進めていく。

国民健康保険証の個人カードを丈夫な材質への変更を要望した。



近畿高校駅伝大会開催
に向けての進捗よく状況

問 11月27日に大会が開催されるが、本町として



大会を盛り上げ、成功させるための準備体制は整っているのか。また、この機会に能勢の観光振興や地域資源の魅力を内外に発信するための対策について問う。

答 交通規制に係る住民周知、沿道警備等のボランティアの確保など体制整備に努めている。あわせて、大会を盛り上げる準備を商工会や観光協会等関係団体を通じ働きかけを進めている。

一般質問



中西 顕治

問 不登校の状況と対応を問う。

答 確認している不登校児童生徒は全体で13名、30日以上欠席が6名と厳しい状況である。登校を促すことを校長会を通じて学校に指示をした。

問 不登校の要因が解消できないままの勧奨が事態を悪化させる例があると聞か、今回は解消の確信があつての指示か。

答 不登校の要因は家庭環境、友人関係など様々である。その辺は十分把握した上で対応していく必要があると思う。

一律に登校を促すことが本当にいいかどうかどうかは十分に気をつけなくてはならないと考える。ただし、研究等で学期の変わり目などでは登校で

新学校での不登校対応は



問 不登校まで至らずも教室に入れない児童生徒への対応は。

答 教室に入ることができず、よつば教室という教室に登校している児童もいる。よつば教室は児童玄関ではなく別の入り口から入れる設備になっており、スクールサポーターが常駐して状況を把握しながら、学習もできる環境を整備し、子どもたちの状況に合わせながら対応をしている。

きる可能性がある聞き、2学期始業式から3日間、登校を促すことを校長会を通じて学校に指示をした。

今回はこれによって登校には至らなかった。

不登校の要因の解消には学校、教育委員会のみならず、福祉部門や専門家も協力して解消に手を尽くすべきではないかと考える。





大平喜代江

家庭教育の充実と子育て支援

問 「アウトリーチ型家庭教育支援モデル事業」について

答 このモデル事業は国から大阪府が受託し本年度から3年間、府内5市へ委託実施し取り組む。本事業は学校や地域等からの要請に応じて、子育てに課題を抱え、地域から孤立しがちな保護者、家庭に対し、訪問型の支援を行うものである。本町においても主体的な家庭教育が困難になっている家庭への支援の重要性、必要性を認識している。モデル事業の動向も注視しながら、予算、専門性、人材発掘等の課題はあるが、現在、既存の枠組みの中で取り組んでいる。

問 子育てに関する相談の実施状況等について

答 地域子育て支援センターの子育てなんでも相談では、日常的に親子教室や一時預かり事業登録時などに子育てや子どもが発達などに関する相談に保育士が応じている。普段から子育て家庭との信頼関係づくりを心がけ、相談しやすい環境を整えている。

問 子ども・子育てに関する係や課の設置について

答 福祉、教育が連携する中で、本来の意味での子ども・保護者の支援のためにはどういう組織であればよいか模索しているところである。



アウトリーチ

手をさし伸ばすことを意味する。直接出向き、心理的なケアとともに必要とされる支援に取り組むこと。

一般質問

ダイオキシン問題 山口町長は説明責任を無視



大西 則宏

山口町長の政治姿勢を質す

問 今般のダイオキシン問題は、豊能郡両町の住民だけでなく、神戸市・川西市など他の自治体住民にも大きな不安を与え、当該自治体との信頼関係ならびに、先人たちが築き上げてきた能勢町の信用を大きく損ねた。これは、9650万円という多額の公金が投入されている事業を、住民に説明せず議会にも諮らないまま、無断で隠ぺいして行った豊能郡環境施設組合正副管理者の政治姿勢に起因するものであると言わざるを得ない。にもかかわらず、副管理者である山口町長は、住民の信を問うことで責任を取ると議会で答弁している。信を問うには全てを住民に明らかにしなければならぬ。事実を隠

質問に対して、山口町長は責任回避の自己弁明以外、答弁を拒否しました。

ダイオキシン問題の解決には、まず、住民の皆さんにこれまでの事実をお伝えすることが必要なのですが、山口町長は「住民の皆さんに対する説明責任という自治体トップとしての最大の義務」を無視しました。

豊能郡環境施設組合議会報告

組合議員 中西 顕治

第4回定例会 開催日 8月12日

- ・報告第1号 平成27年度豊能郡環境施設組合一般会計予算繰越計算書について
- ・承認第6号 専決処分 917万7千円
- ・平成28年度豊能郡環境施設組合一般会計補正予算(第1号) 不承認
- ・廃棄物撤去業務委託 1500万円
- ・撤去廃棄物運搬業務委託 600万円
- ・仮置き保管用地借地料 24万円
- ・撤去廃棄物仮置き整地工事 1500万円
- ・議案第5号 証人等の実費弁償に関する条例の制定について 可決
- ・百条調査委員会での証人への実費弁償を規定する
- ・議案第6号 平成28年度豊能郡環境施設組合一般会計補正予算(第2号)
- ・施設費分担金3624万円を削除する修正案 可決

議員懇談会 開催日 10月4日

- ・廃棄物仮置き経緯について
- ・廃棄物の搬出、仮置きに伴う費用について

第1回 高濃度汚染物処理調査特別委員会 開催日 8月1日

- ・運営要領について
- ・記録提出要求書について

第2回 高濃度汚染物処理調査特別委員会 開催日 8月17日

- ・記録提出要求書について

猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会報告

組合議員 中植 昭彦

第2回定例会 8月8日開催

- 国崎クリーンセンター大会議室において開催され、業務内容等について一般質問を行い、以下の議案を審議し、いずれも原案通り可決されました。
- 議案
- ・平成27年度猪名川上流広域ごみ処理施設組合予算継続費精算報告書の報告について
 - ・平成26年度環境影響調査業務委託費 320万7600円
 - ・平成27年度猪名川上流広域ごみ処理施設組合予算継続費繰越計算書
 - ・平成27年度環境影響調査業務委託費 1110万3千円
 - ・第2期焼却施設等管理運営業務事業者選定支援業務費 47万円
 - ・平成27年度猪名川上流広域ごみ処理施設組合歳入歳出決算認定について
 - ・歳入合計 29億3190万7683円
 - ・歳出合計 28億7076万 58円
 - ・公平委員会委員の選任について 田口 数雄氏

議員総会 8月8日開催

- 第2回定例会終了後、国崎クリーンセンター大会議室において開催され、以下の事項について報告がありました。
- ・平成27年度国崎クリーンセンター焼却施設等管理運営業務委託の効果について
 - ・平成27年度ダイオキシン類総排出量について
 - ・平成27年度プラスチック製容器包装ベール品質評価結果について
 - ・第2期焼却施設等管理運営業務委託事業者選定について
 - ・第3期啓発施設指定管理者募集について

いきいき百歳体操

町内21ヶ所で実施中！！



いきいき百歳体操は誰でも気軽に行え、筋力UPが期待でき、心も身体もほぐされ、より参加住民のつながりを深めています。

お茶の時間を設けられるところもあり、おしゃべりも介護予防につながっています。

いきいき百歳体操交流大会

11月29日(火)に新学校の体育館で交流大会を開催します。参加・見学のお問い合わせは、能勢町地域包括支援センターまで。

表紙のこぼれ

9月24日(土)、第1回能勢中学校体育大会が開催されました。大会のテーマを「仲間こそ最大の力」とし、仲間と一体となって、さまざまな種目や演技等に挑戦しました。雨や台風の影響があり、計画通りの練習時間や場所を確保することが難しいこともありました。体育大会に向けた日々の練習から真剣に取り組む、当日に自信を持って臨むことができました。

男子全員による「能勢中ボーイズ」では、ダンス、組体操等の要素を取り入れ、迫力ある演技を身体いっぱい使って表現することができました。全員の心を一つにして難易度の高い技にも挑戦しました。保護者の方や地域の方等、多くの方に体育大会をご覧いただき、様々な感想をいただくことができました。

編集後記

9月定例会議を終え、議会だよりの編集時期が、今年は町長選挙期間にあたりました。その節目に当たる作業の中で考えさせられたことがあります。

「世界一貧しい大統領」と呼ばれた元ウルグアイ大統領ホセ・ムヒカ氏の名言ですが、「壁をつくることで、国民は政治から離れていきます。もっともよくないことは、国民から政治が嫌われること。そうすると、政治は失敗に終わります。」という言葉です。18歳以上の有権者による選挙になったこの度の選挙、町政に携わる者にとって「壁とは何か」「壁をつくっていないか」、改めて自問自答、住民と寄り添い、壁のない議会運営を進めてまいります。

広報特別委員会

委員長	長尾 義信
副委員長	中西 顕治
委員	福中 満
	大平喜代江
	大西 則宏

お気軽にみなさんのご意見
ご感想を、お寄せください。

電話 七三〇一〇一五

FAX 七三〇一〇一六

『広報特別委員会』

までお願いします。

発行／能勢町議会 発行責任者／長尾 義和 編集／広報特別委員会 発行日／平成28年11月1日

〒563-0392 大阪府豊能郡能勢町宿野28番地

TEL (072)734-0151 FAX (072)734-2460

ホームページアドレス <http://www.town.nose.osaka.jp>

／のせ町議会だより No.64 ⑩